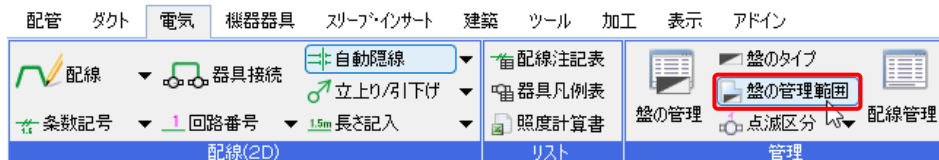


Q 盤に接続する器具の範囲を指定したい

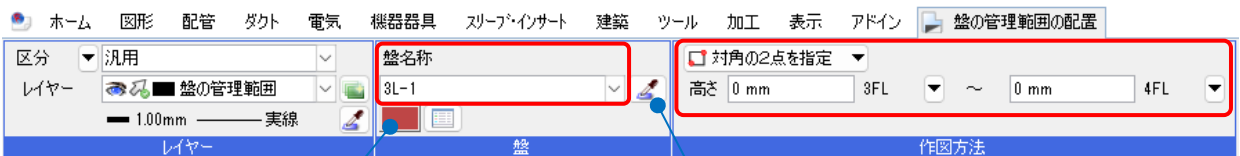
A [盤の管理範囲]を作図します

[盤の管理範囲]を作成することで、盤に対して接続する器具の範囲を定義できます。

1 [電気]タブ-[盤の管理範囲]をクリックします。



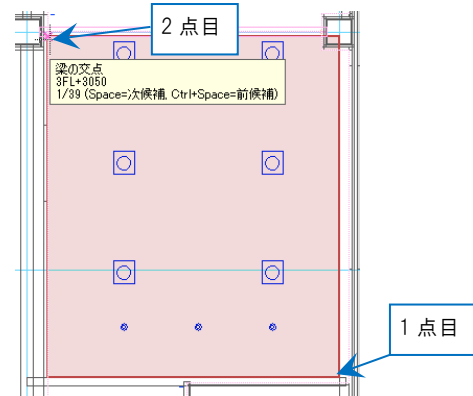
2 管理範囲を設定したい盤名称を指定し、高さ範囲や作図方法を設定します。



盤の管理範囲の色を指定できます。

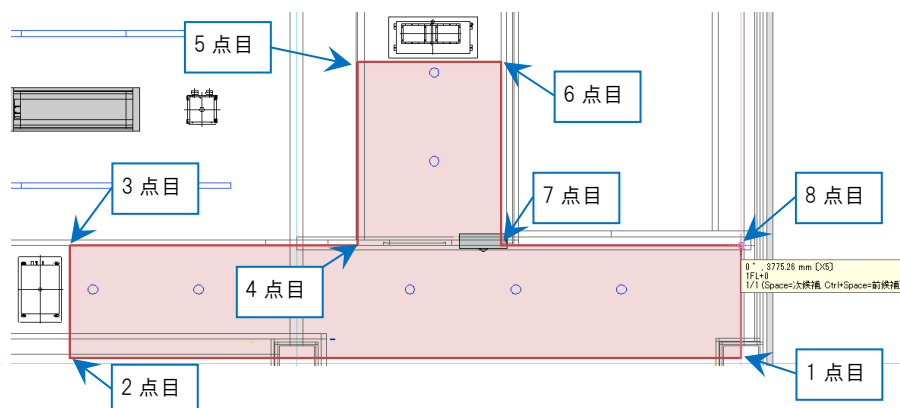
スポイトで図面上の盤や盤の管理範囲の盤名称をコピーできます。

3 図面上で盤の管理範囲を作図方法に基づいて作図します。
「対角の2点を指定」の場合
盤の管理範囲を設定したい範囲を対角2点で指定します。



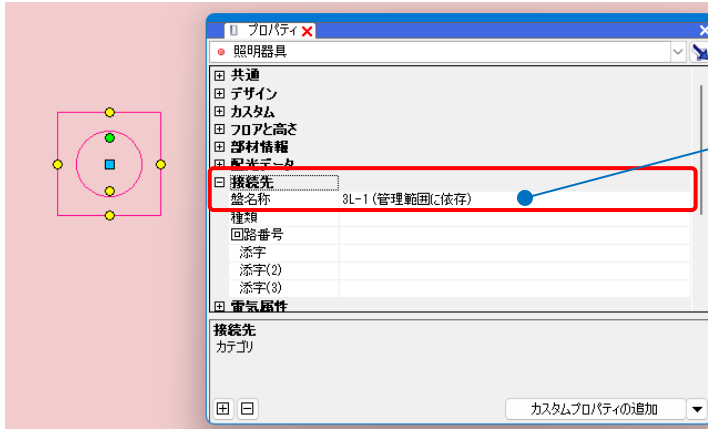
「任意の端点を指定」の場合

盤の管理範囲の頂点を順に座標指定し、Enter キーで[確定]します。



4

盤の管理範囲内に含まれる器具に盤名称が設定されます。

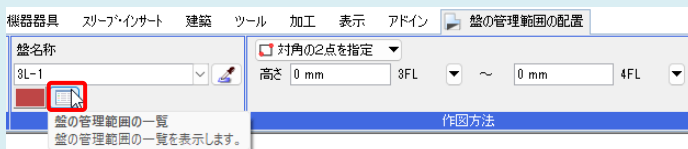


プロパティ[接続先]-[盤名称]には「(管理範囲に依存)」と表示されます。プルダウンから、直接盤名称を選択することもできます。

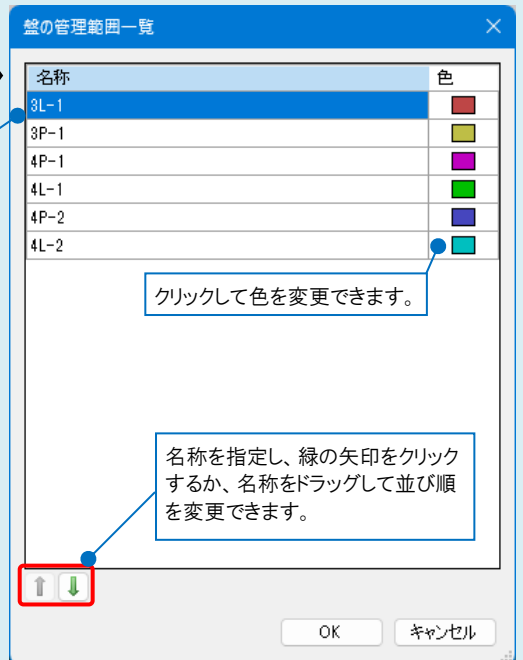
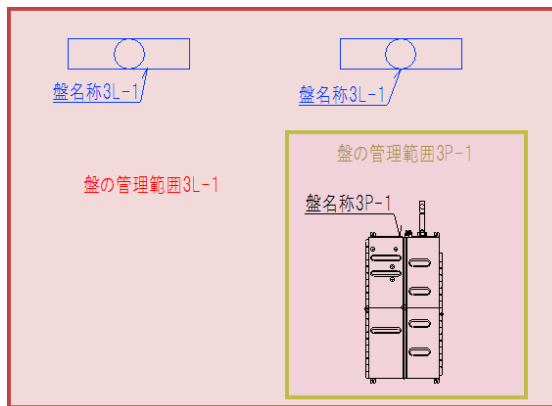
●補足説明

[電気]タブ-[盤の管理範囲]の[盤の管理範囲の一覧]をクリックし、管理範囲の色や並び順の変更を行うことができます。

盤の管理範囲が重なっている場合、プロパティ[接続先]-[盤名称]が「(管理範囲に依存)」となっている器具は[盤の管理範囲一覧]の表示順が上の名称から順番に優先され、盤名称が設定されます。



例えば、3P-1の方が3L-1より上に表示されているため、2つの盤の管理範囲が重なっている箇所では3P-1が設定されます。

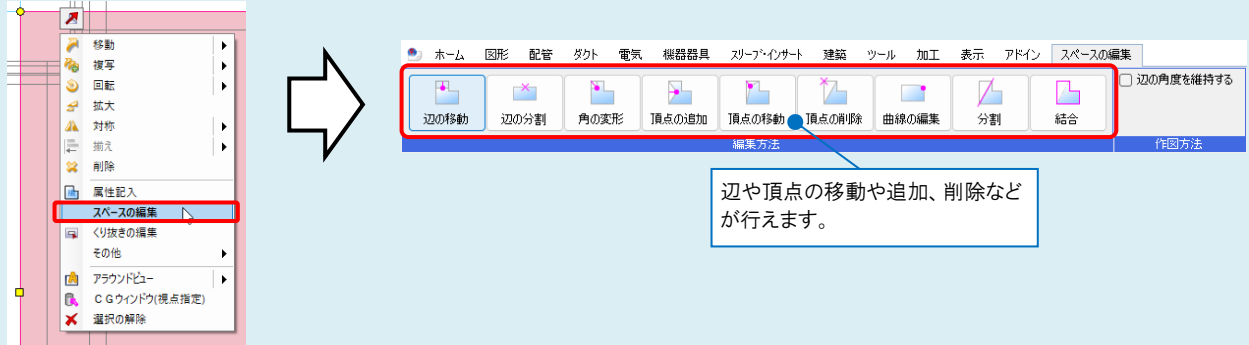


クリックして色を変更できます。

名称を指定し、緑の矢印をクリックするか、名称をドラッグして並び順を変更できます。

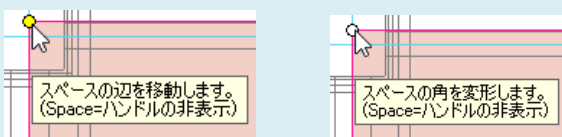
●補足説明

作図後に盤の管理範囲を変更したい場合は、管理範囲を選択し、コンテキストメニューから[スペースの編集]をクリックして編集します。

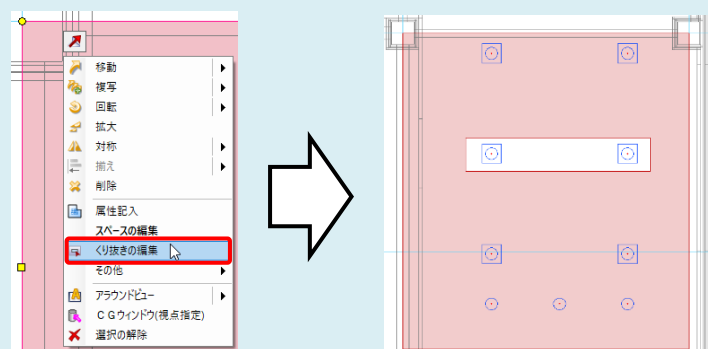


盤の管理範囲は、管理範囲選択時に表示されるハンドルでも変更できます。

辺の移動ハンドル(黄)や、Shift キーを長押しして表示される角の変形ハンドル(白)をクリックし、スペースを変更することができます。

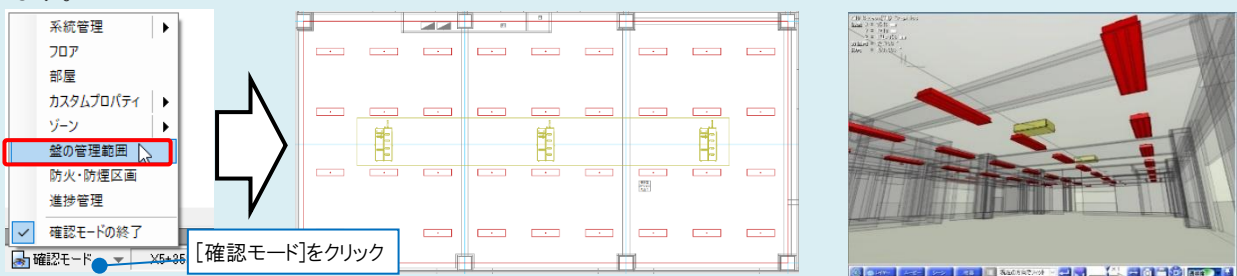


管理範囲を選択し、コンテキストメニューから[くり抜きの編集]をクリックすると、管理範囲の一部をくり抜くことができます。



●補足説明

[確認モード]-[盤の管理範囲]をクリックし、盤の管理範囲ごとに要素を色分けして図面上やCGで確認することができます。



[確認モード]を終了する場合は、[確認モード]-[確認モードの終了]をクリックします。

